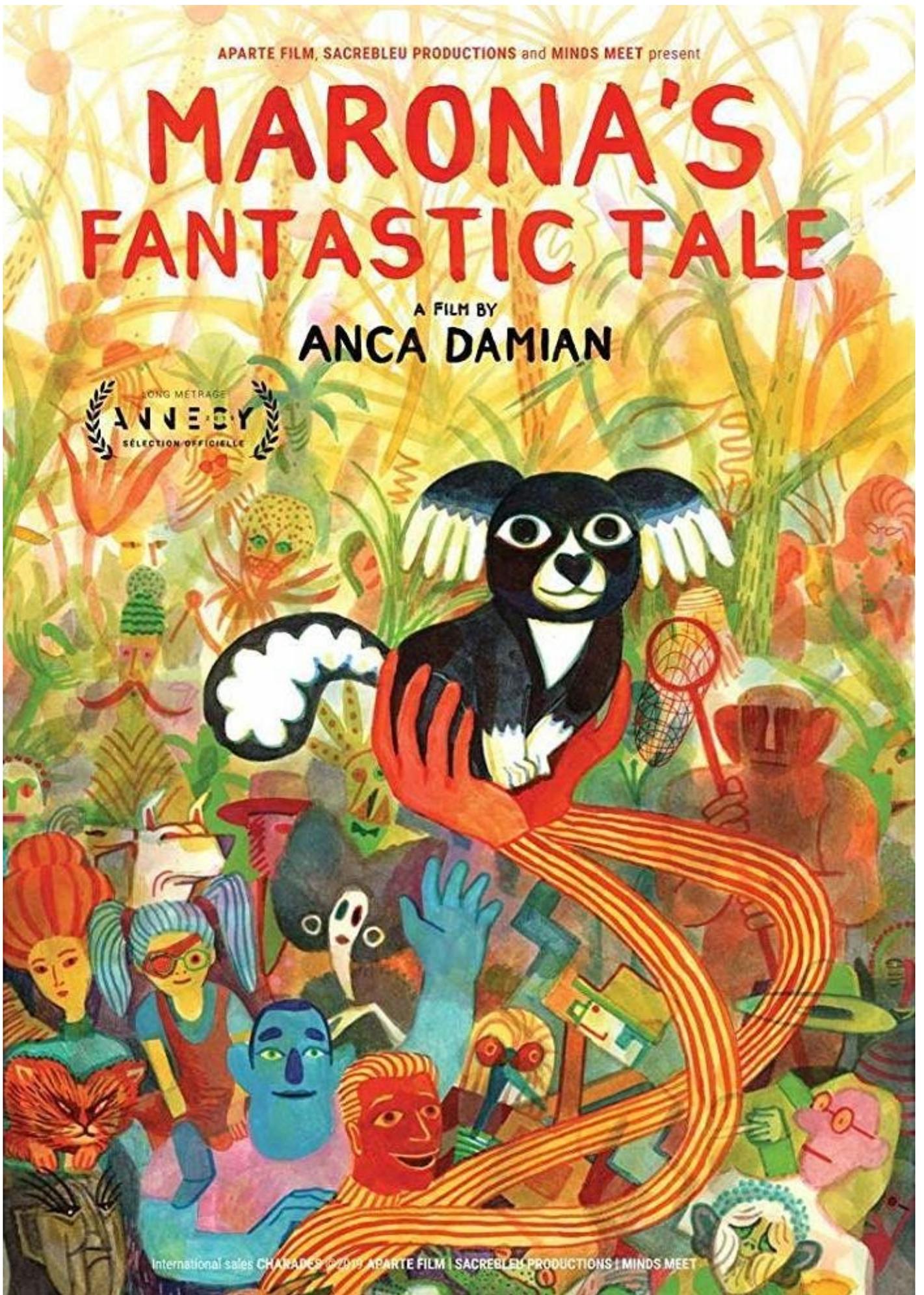


APARTE FILM, SACREBLEU PRODUCTIONS and MINDS MEET present

MARONA'S FANTASTIC TALE

A FILM BY
ANCA DAMIAN



International sales CHARADES © 2019 APARTE FILM | SACREBLEU PRODUCTIONS | MINDS MEET

作品紹介

タイトル：マロナの幻想的な物語り

原題：L'extraordinaire voyage de Marona 英語題名：Marona's Fantastic Tale

(2019/フランス・ルーマニア・ベルギー/1:1.85/5,1ch/フランス語/92分)

監督：Anca Damian アンカ・ダミアン

制作スタジオ：Sacrebleu Production (フランス) / 『ロング・ウェイ・ノース』

Aparte Film(ルーマニア)/Minds Meet (ベルギー)

プロデューサー：ロン・ディアン 『ロング・ウェイ・ノース』/トーマス・レイヤーズ

World Premia： 2019年6月 アヌシー国際映画祭

2019年11月 東京国際映画祭

2020年3月 東京アニメーションフェスティバル コンペティション

長編アニメーション部門 グランプリ (3/31 情報解禁)

<概要>

『マロナの幻想的な物語り』は、2019年に日本公開されたフランス・デンマーク製長編アニメーション『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』のメイン制作プロダクションである仏サクレブ・プロダクション、プロデューサー ロン・ディアンによる最新作である。監督のアンカ・ダミアンはザグレブ国際映画祭で長編アニメーション『THE MAGIC MOUNTAIN』(2015)でグランプリ受賞をはじめ、『MOON HOTEL KABUL』(2018)、『The Call』(2018)でも各賞を受賞している世界が注目のルーマニアの女性監督・プロデューサーです。

『マロナの幻想的な物語り』は、鼻がハートの形の雑種マロナの一生を描いた作品で、92分の本編には愛とアートが溢れんばかりに詰まっています。2Dと3Dの融合、特にクライマックスのシーンのマロナの視点で描かれた描写はそのあとの顛末を含め圧巻で、映画表現の歴史に刻まれるべき作品となっています。

『マロナの幻想的な物語り』予告編

<https://www.youtube.com/watch?v=DweZRx-h588>



『マロナの幻想的な物語り』の国内配給は、前述の『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』の配給会社リスケット、同社は非スタア・システム（作品本位）の吹替え版制作で定評があり、本作も日本語字幕版に加え、日本語吹替え版も展開とのことで、今からオリジナル版との見比べが楽しみとなっています。

<あらすじ>

血統書付きの母と、ちょっと乱暴な父との間に生まれたマロナは、同時に生まれた9匹の末っ子で、「名前なし」ですが、便利的に「ナイン」と呼ばれていました。このハート型の鼻を持つ小さな犬は、生まれてすぐ彼女の家族から分離され、曲芸師、マノールの手にわたります。マノールはこの小さな犬にアナ.という名前を授け、アナは、大好きなマノールと一緒に幸せの瞬間を過ごしていました、そんな中、マノールに大きなチャンスがやってきます。ただしその仕事には「犬禁止」条項が付帯していました。アナは、自分がマノールの負担になることを知ってマノールのもとを去る決心をします。さみしく通りをさまよっている彼女は、エンジニアのイストヴァンの働く現場のゴミ箱の中で発見されます。サラという新しい名前をもらい、建設現場で一緒に過ごした日々。イストヴァンはますますサラに愛着を持ち、建物が完成した後、彼の母親の家に彼女を連れて行くことにしました。老婦人は精神的な病をかかえていて、思わずサラを傷つけたので、サラはイストヴァンと彼の妻の家に引っ越します。イストヴァンの妻マダリナは、マロナを彫像のようにじっとさせようとしています。サラは彼女が望んでいたほど従順ではないので、少しずつマダリナは彼女を邪魔に扱います。幸いなことに、サラは脱出し逃げ出しました。そして、彼女は少女ソランジュと公園で出会います。新たな名前はマロナ。最初は女の子の母親と祖父には受け入れられませんでした、マロナは持ち前の愛くるしさで次第に家族全員を虜にします。ゆっくりとマロナは家族一人一人と絆を深めていきます。ある日、マロナは、散歩の途中の公園で倒れた祖父の命を救います。年月が経ち、ソランジュが10代になるにつれて、彼女は徐々に犬に興味を失います。ある日、彼女はマロナを木に結び付け、デートの後で戻ってくることを約束してバスで街へと出かけます。マロナはソランジュの身に何かが起こることを予感し、結ばれていたリードを外し、ソランジュを追いかけて街を彷徨います、そして、バスから降りて車にひかされようとしているソランジュを見つけ、マロナは彼女の代わりに身を捨てて車に飛び込みます。



監督：アンカ・ダミアン

ルーマニアの国立舞台映画芸術学院で、映画撮影と美術・映画・メディアの博士号を取得。卒業後は監督、脚本家、プロデューサーとして、芸術関連のドキュメンタリーに関わり、また監督として2本の長編映画と様々なドキュメンタリーや短編を作成。

2018年には実写長編映画『Moon Hotel Kabul (ムーンホテル・カブール)』がワルシャワ国際映画祭で、最優秀監督賞を受賞した。また、彼女の最新のアニメ短編映画である『The Call (コール)』は、アヌシー、トロント、サンダンスなど40以上の国際映画祭で上映され、5つの国際的映画賞を受賞した。

マドリッド国際映画祭2018で、「新しい監督達にとって真に目標となる、そして比類なきインスピレーションを与える総合芸術家」としてミラダ国際賞を受賞している。



そして本作『マロナの幻想的な物語り』を2019年、アヌシー国際映画祭にて発表、日本では東京国際映画祭で正式上映後、東京アニメーションアワード2020のコンペティションに選出され見事グランプリを獲得した。

監督からのメッセージ

『マロナの幻想的な物語り』は、愛らしい小型犬マロナの物語です。様々な飼い主の手に渡るマロナの生涯を通じて、ハラハラドキドキする、奇跡のような旅と一緒に体験してください。

この映画のアイデアを思いついた時、この一見“家族向け”に見える映画には、さらに深い意味を待たせることができると感じました。日々の平凡な生活において、見逃しがちな、しかし大切なことを気付かせてくれる映画です。アニメーションは、その意味で、私の想像の世界を自由に表現してくれる最適なパートナーでした。そのユニークな表現と視点は、観る人に大きく影響を与えます。特に犬の目線からものごとを見るということは、普段なら気が付かない真実を映し出す鏡を手にするようなものです。私にとって、この映画は現代版のおとぎ話です。

マロナの運命は単純でありながらも複雑で、個人的でありながらも普遍的なものです。今を生きる、ちっぽけなことを楽しむ、他人と深く繋がる。これが、犬から人間への「幸せの教訓」なのです。最後に流れる歌は、このメッセージを歌っています。

Happiness is a small thing

Almost nothing

A saucer of milk

A big wet tongue

A nap

A place to bury a bone

幸せは ほんのちっぽけなこと

取るに足りないこと

一皿のミルク

大きな温かい舌

昼寝

骨をかくす場所